Ｘ線ＣＴ装置

INTELLECT®
EXE/SOCIO

操作手順

注記

本書は、操作の概略（流れ）について説明しているにすぎません。

実際に装置を使用する際には必ず「取扱説明書」をお読み下さい。

目　　次

委員会申し合わせ事項　3

各部の名称　4

システムの起動　5

システムの停止　6

頭部ポジショニング　7

頭部スキャン手順　8

腹部ポジショニング　１１

腹部スキャン手順　１２

胸部ポジショニング　１４

胸部スキャン手順　１５

フィルムへのプリント　１７

画像の呼び出し　１８

画像ファイルの削除　１９

追加スキャン　２０

再プラン方法　２１

地域医療対策委員会　申し合わせ事項

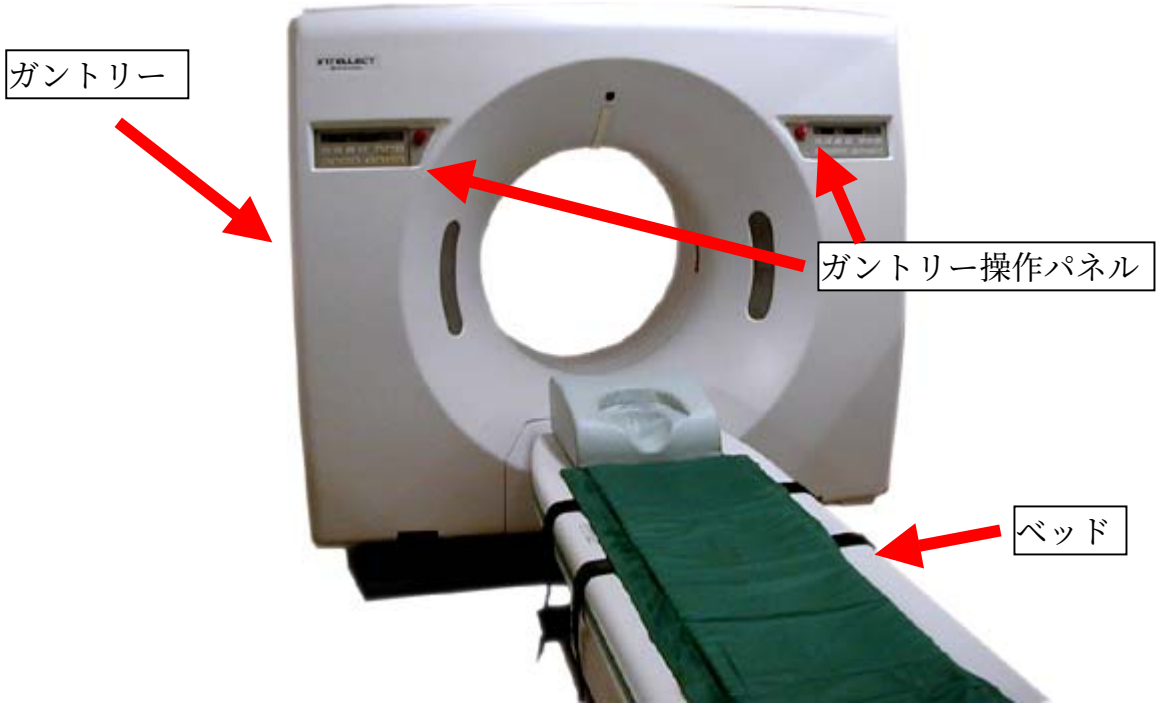
委員会申し合わせ事項　2002.5.11

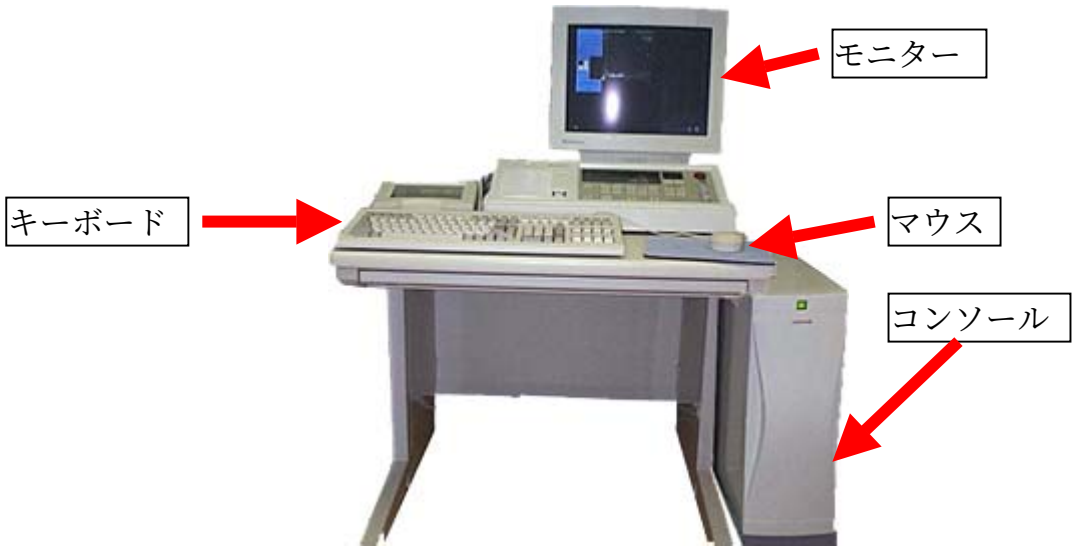
福井市ＣＴ導入にあたり、下記事項を申し合わせる。

1. ＣＴ患者登録ＩＤには、センター撮影者番号（一般撮影と同様のもの）を入力する
2. ＣＴ患者登録氏名には、カタカナ入力ボックスにてカナ氏名を入力
3. 依頼科、依頼医師、担当技師名は空欄
4. すべてのＣＴ撮影に、ＣＲ（スキャノグラムあるいはスカウトビュー）を撮影すること。
5. 頭部撮影は、後頭蓋窩 5mm 厚８スライス、以降 10mm 厚の【head routine 5/10mm】プロトコルにて撮影願います。
6. フィルミングは、イメージャデフォルト２０コマにて、第１コマへＣＲ像を写しこむ
7. 検査画像（生データおよび画像データ）は、削除しない。
8. 出務者がテスト撮影したスライス画像（生データおよび画像データ）は撮影者が必ず削除願います。（デフォルトで生データも保存される設定となっております。ローテーションしない）

適宜、委員会検討により申し合わせ事項を見直しますので、ご注意願います。

各部の名称



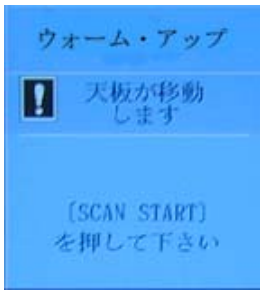


システムの起動

（１）分電盤内のすべてのスイッチ（ブレーカー）をＯＮにしてください。

（２）メインパワースイッチを押してＯＮにしてください。スイッチのランプ（緑）が点灯します。

（３）約５分後、モニターに右図の様なメッセージが表示され、ブザーがなり、 のランプ（下図参照）が点滅するので



を押して下さい。ウォームアップ（キャリブレーション）が始まります。

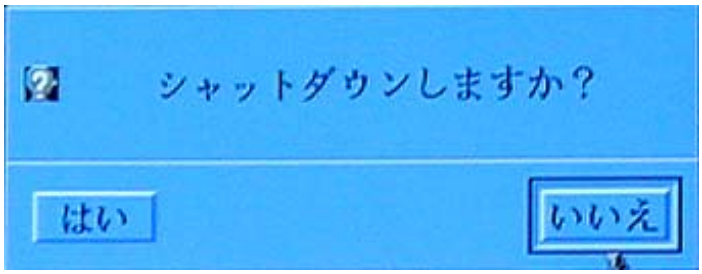
※※ウォームアップ時にはＸ線が発生されますので注意して下さい。※※

（４）ウォームアップ開始より約５分後、画面に右図のような「メインメニュー」が表示されたら起動の完了です。

システムの停止

（1） SHIFT を（左右どちらか一方）を押しながら STOP を押して下さい。

（2）約１０秒後、画面に次のようなメッセージが表示されますので［はい］をクリックして下さい。



（3）その後、１・２分後に　“１６７－Ｂｕｇ＞”と表示されたらメインパワースイッチを押して電源をＯＦＦして下さい。

（4）分電盤内の指示されたスイッチ（ブレーカー）をＯＦＦにします。

頭部ポジショニング（ＣＲ撮影より）

１．頭部用ヘッドレストを取り付けます。

２．被検者をベッドに乗せます

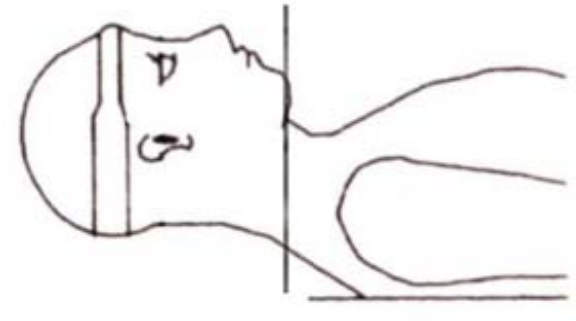
３． （またはペダル）を押し続けます。③の状態まで離さないで下さい。

①BED が上昇し、一度 STOP します。

②BED の天板が、ガントリ方向に移動します。

③移動が STOP し、位置合わせ用のランプが点灯します。

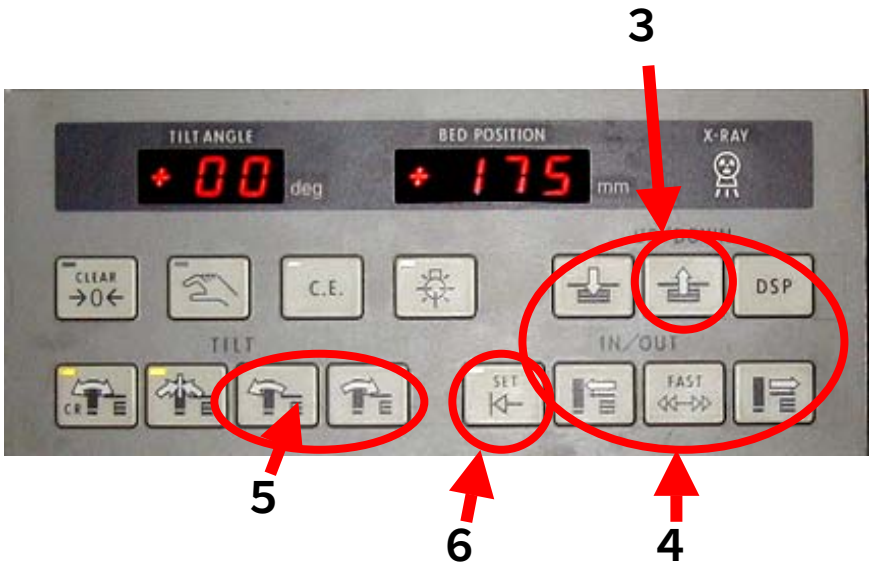
４．ＯＭラインが垂直になるようポジショニングします。
外耳孔１ｃｍ上の高さで下顎に透光器の十字を合わせます。



５．ＣＲ撮影しますので、ガントリーを傾斜（TILT）させないでください。

６． を押し続けて、止まるのを確認します。

ＣＲの撮影動作は必ずテーブルを引き出す方向に移動します。



頭部スキャン手順　（HEAD ROUTINE 5/10mm）

1．HEAD　CR　を押します。

2．PATIENT　を押します。

3．モニターに次のようなウインドウが表示されますので、患者名、患者 ID、性別、生年月日を入力します。

患者名を入力し、↵

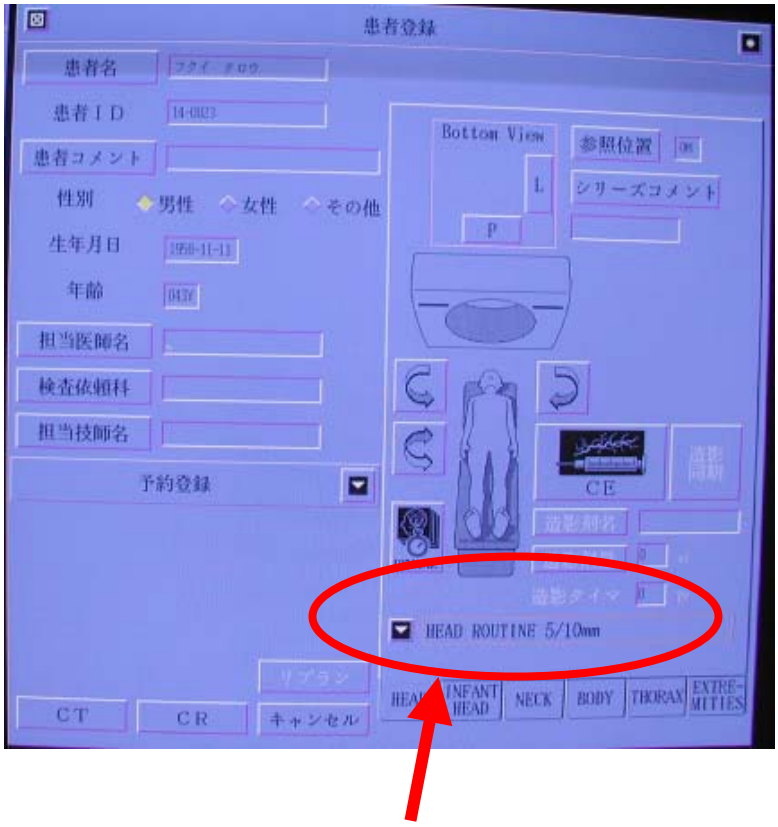
患者 ID を入力し、↵

性別は、男性か女性のボタンをクリック

生年月日を入力し↵

間違えたらＢＳキーで入力された文字を消します。

患者ＩＤは、センター患者撮影番号
患者名はカタカナ入力
担当医師、依頼科、技師名は空欄とする



4．このとき入力画面のプロトコル選択ボックスに　HEAD ROUTINE 5/10mm　の表示があることを確認してください。（デフォルト）

HEAD ROUTINE 5/10mm　には
後頭蓋 5mm 厚 8 スライス＋10mm 厚 10 スライス
がプリセットされています

注：　一律 10mm 厚スライスの場合は　HEAD 10mm を選択しスマートｏｆｆ（後述）

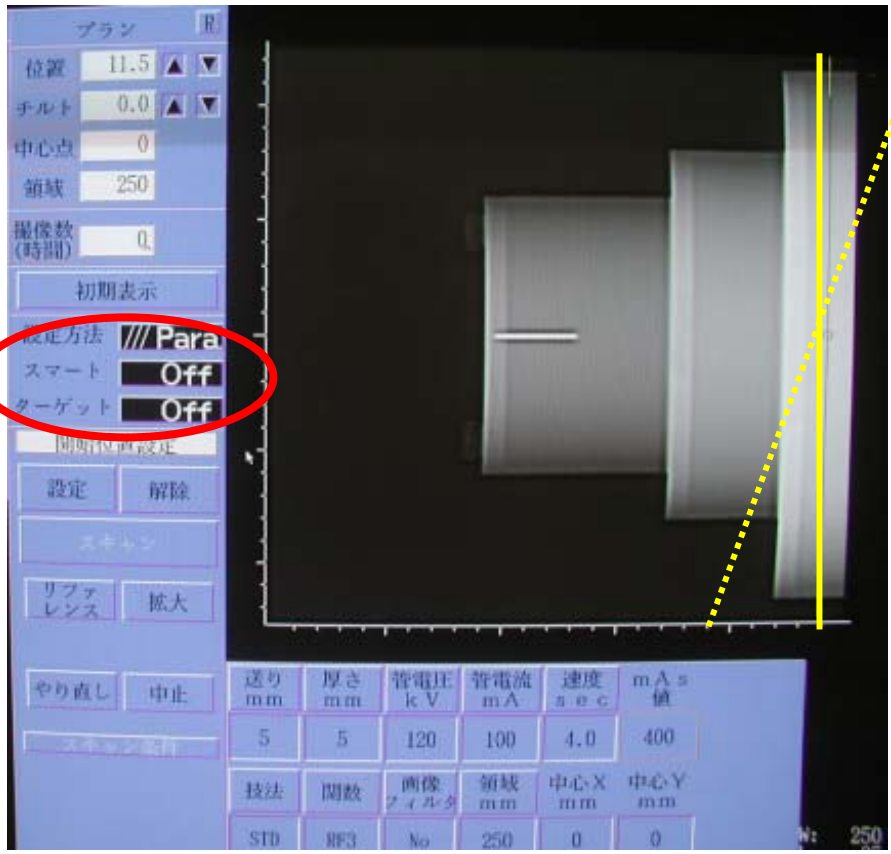
5．入力が完了したら、MODE SET　を押します。

6．ブザーが鳴り　SCAN START　のランプが点滅したら、押します。

７．モニターに次のようなウィンドウが表示されます。スキャン位置を設定します。

スキャンの開始位置にカーソル（黄色）をドラッグします。
また、適宜傾斜をつけてもよい。

スマートを ON にする



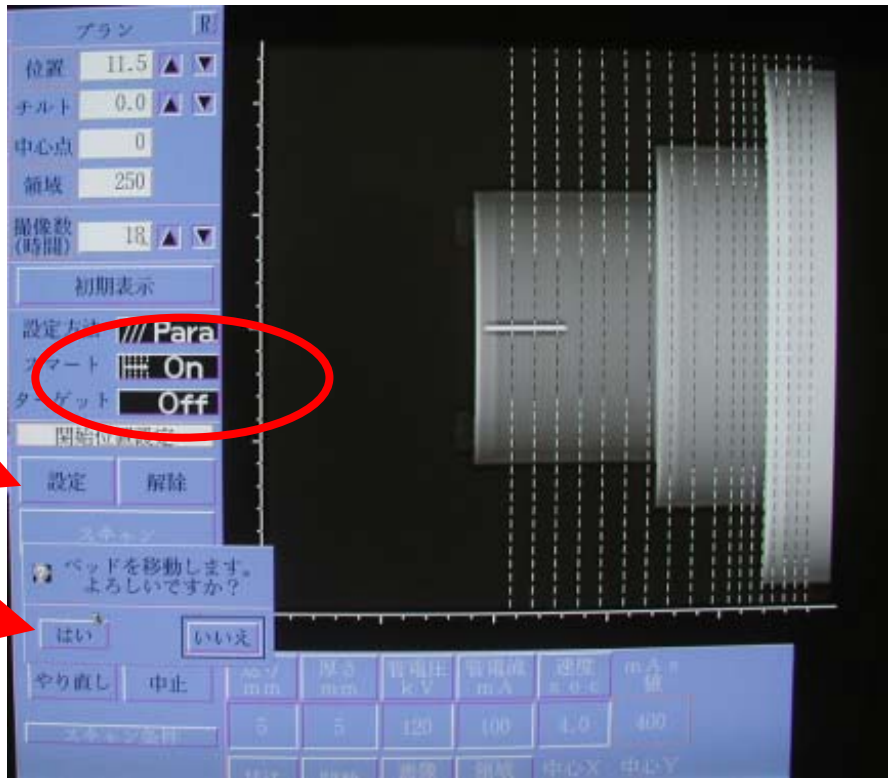
右図のごとくプリセット位置が表示される。

設定ボタンを押し、計画を確定させる。

ベッドをスライス開始位置まで移動させる。

しばらくすると、 が点滅します。

を押してください。



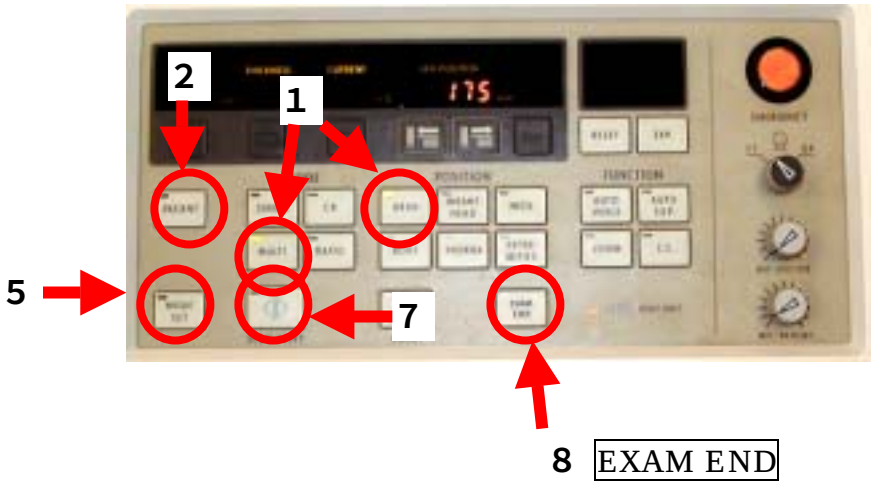
※※スキャンが開始されます。※※

８．プリセット枚数よりも早くスライスが終わる場合は EXAM END ボタンを押してスキャンを中止してください。

９．スキャンが全部終了したら、右のようなウィンドウが表示されますので、終了をクリックして下さい。

１０．被検者をベッドから降ろします。

１１．画像をフィルムへプリントします。



腹部ポジショニング

１．　部用ヘッドレストを取り付けます。

２．　被検者をベッドに乗せます

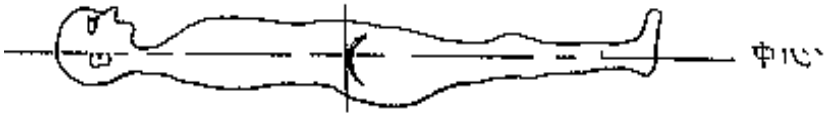
３． （またはペダル）を押し続けます。③の状態まで離さないで下さい。

①BED が上昇し、一度 STOP します。

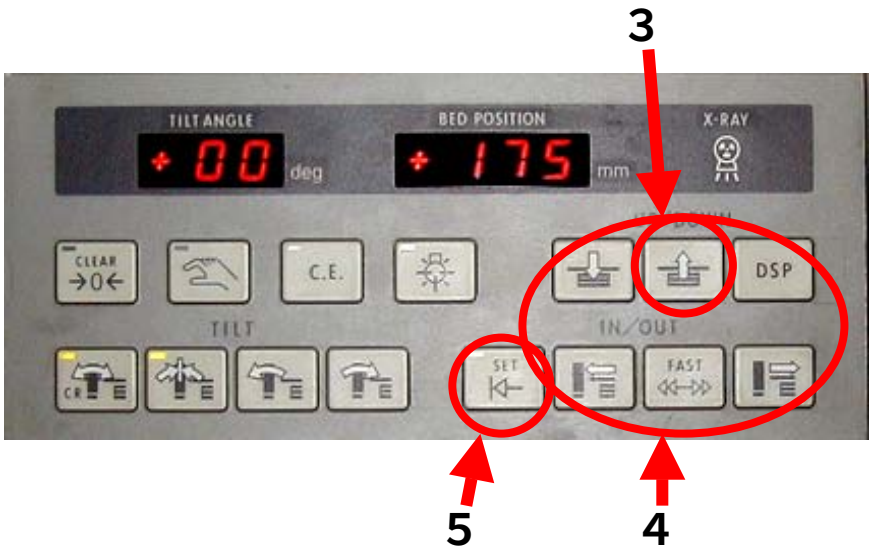
②BED の天板が、ガントリ方向に移動します。

③移動が STOP し、位置合わせ用のランプが点灯します。

４．骨盤付近にランプの十字を合わせます。



５． を押し続けて、止まるのを確認します。



腹部スキャン手順

1．BODY　CR　を押します。

2．PATIENT　を押します。

3．モニターに次のようなウインドウが表示されますので、患者名、患者 ID、性別、年齢を入力します。

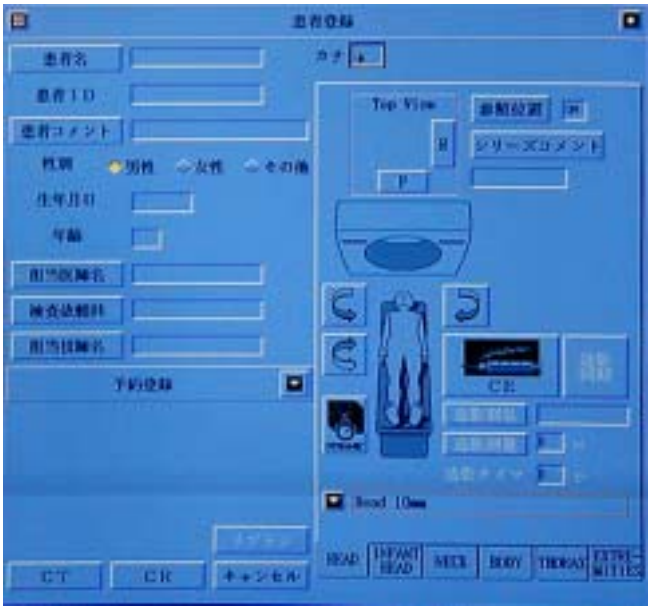
患者名を入力し、↵

患者 ID を入力し、↵

性別は、男性か女性のボタンをクリック

年齢を入力し↵

間違えたらＢＳキーで入力された文字を消す。



4．入力が完了したら、MODE SET　を押します。

5．ブザーが鳴り

のランプが点滅したら、押します。

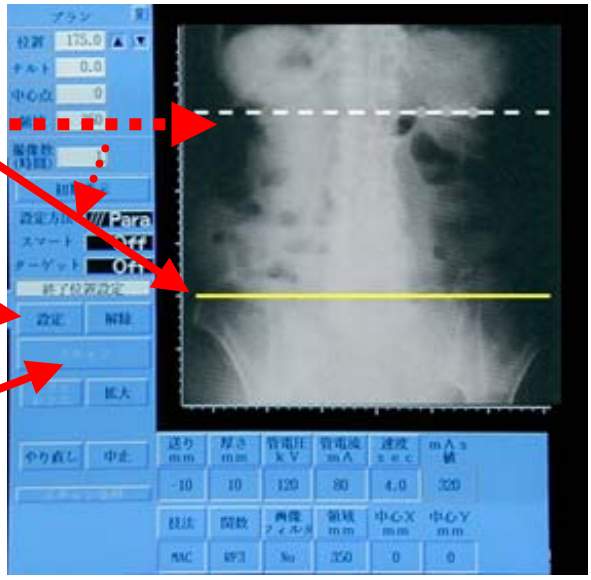
6．モニターに次のようなウィンドウが表示されます。スキャン開始位置を設定します。

スキャンの開始位置にカーソル（黄色線）を**ドラッグ**します。

設定ボタンを**クリック**します。

※設定ボタン上の開始位置設定の表示が終了位置設定に変わります。

７．続けてスキャン終了位置を設定します。

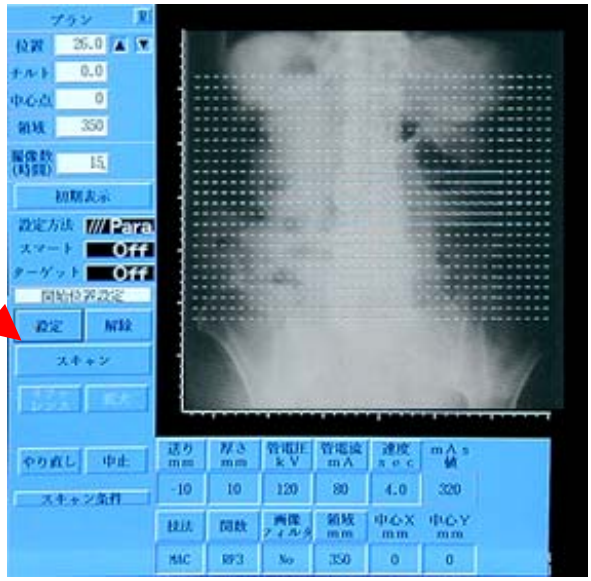


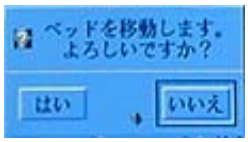
開始位置の点線に重なって終了位置設定用の黄色線が表示されています。**ドラッグ**して終了位置に移動して下さい。

終了位置まで持っていったら、**設定**を**クリック**して下さい。

※　スキャン（白文字）がスキャン（黒文字）になります。

８．設定がよければスキャンを**クリック****します。**





の表示が出てきたら、はいをクリックして下さい。

しばらくすると、 が点滅します。
必要に応じ SINGLE を MULTI に切り替えて を押して下さい。

※※スキャンが開始されます。※※

８．スキャンが終了したら右のような**ウィンドウが表示されます。終了を****クリック****して下さい。**

９．被検者をベッドから降ろします。

１０．フィルムへプリントします。

胸部ポジショニング

３．　腹部用ヘッドレストを取り付けます。

４．　被検者をベッドに乗せます

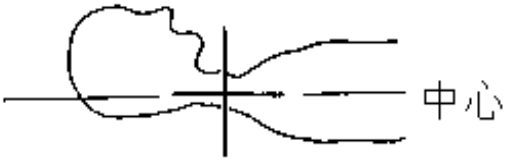
３． （またはペダル）を押し続けます。③の状態まで離さないで下さい。

①BED が上昇し、一度 STOP します。

②BED の天板が、ガントリ方向に移動します。

③移動が STOP し、位置合わせ用のランプが点灯します。

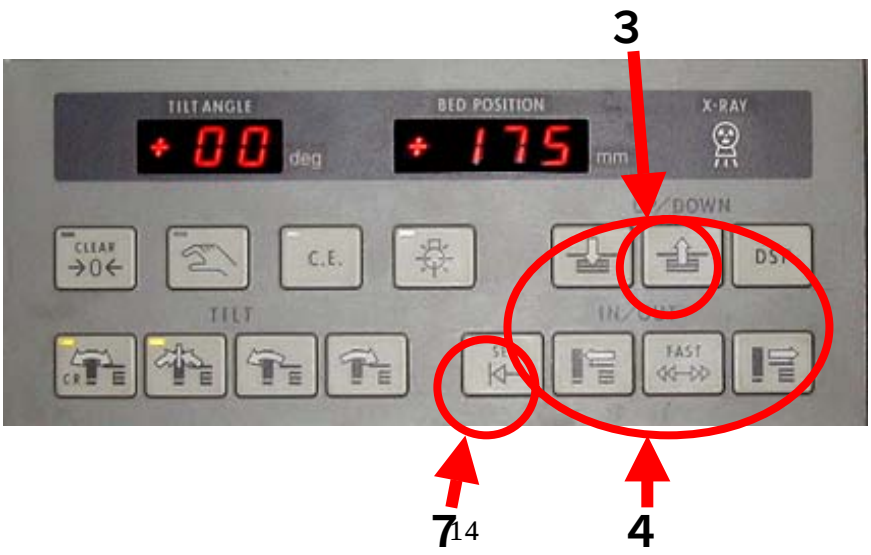
４．喉仏付近にランプの十字を合わせます。



５．CLEAR をすばやく２回押して BED POSITION 表示を０mmにします。

６． を押して BED POSITION 表示を－３５０mmにします。

７． を押し続けて、止まるのを確認します。



胸部スキャン手順

1．THORAX　CR　を押します。

2．PATIENT　を押します。

3．モニターに次のようなウインドウが表示されますので、患者名、患者 ID、性別、年齢を入力します。

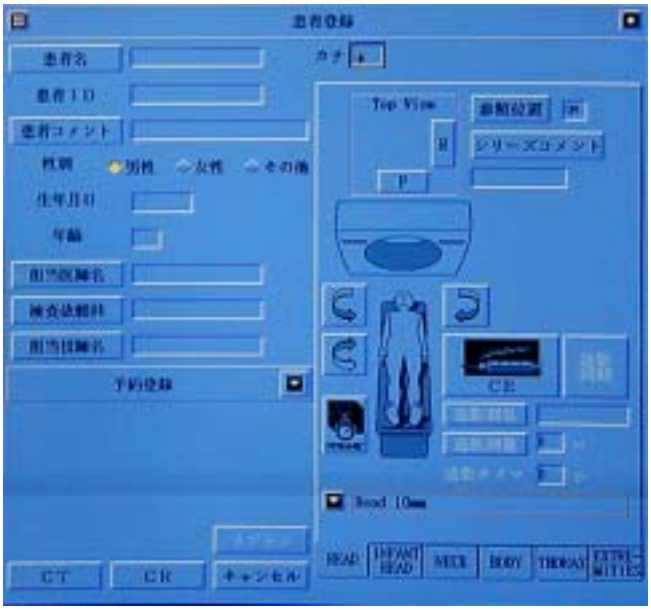
患者名を入力し、↵

患者 ID を入力し、↵

性別は、男性か女性のボタンをクリック

年齢を入力し↵

間違えたらＢＳキーで入力された文字を消す。



4．入力が完了したら、MODE SET　を押します。

5．ブザーが鳴り

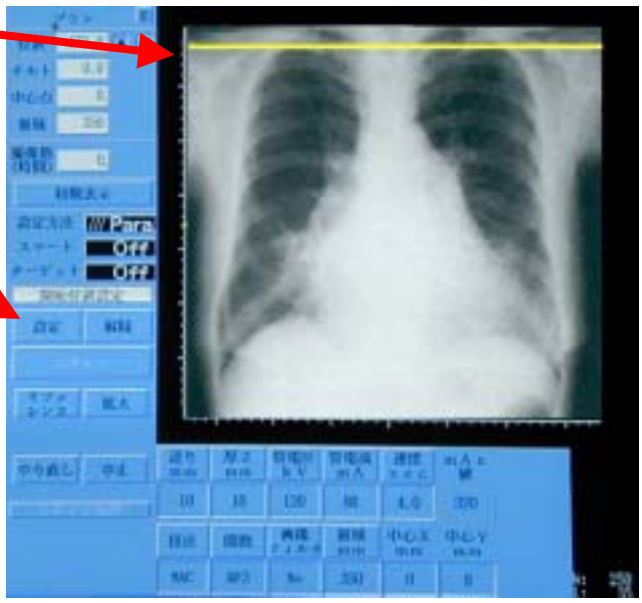
のランプが点滅したら、押します。

6．モニターに次のようなウィンドウが表示されます。スキャン開始位置を設定します。

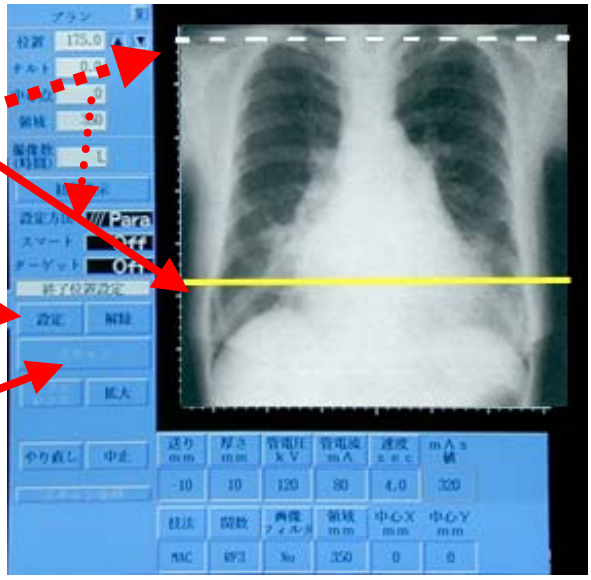
スキャンの開始位置にカーソル（黄色線）を**ドラッグ**します。

設定ボタンを**クリック**します。

※設定ボタン上の開始位置設定の表示が終了位置設定に変わります。



７．続けてスキャン終了位置を設定します。

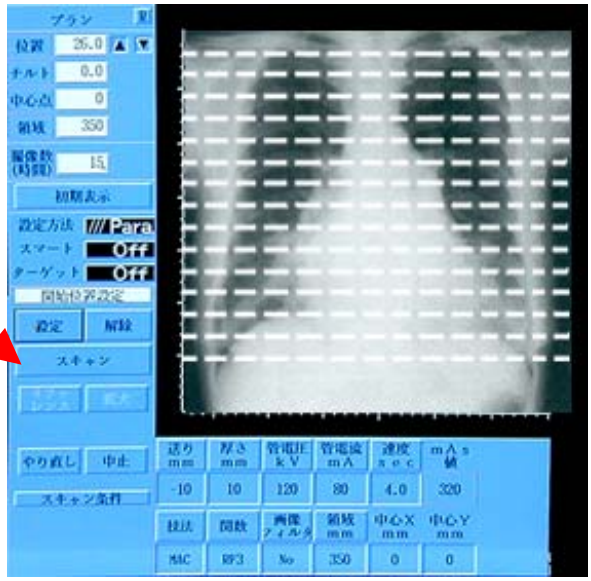


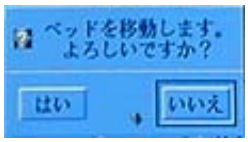
開始位置の点線に重なって終了位置設定用の黄色線が表示されています。**ドラッグ**して終了位置に移動して下さい。

終了位置まで持っていったら、設定を**クリック**して下さい。

※　スキャン（白文字）がスキャン（黒文字）になります。

８．設定がよければスキャンを<u>クリック</u>します。





の表示が出てきたら、はいをクリックして下さい。

しばらくすると、 が点滅します。
必要に応じ SINGLE を MULTI に切り替えて を押して下さい。

※※スキャンが開始されます。※※

**８．スキャンが終了したら右のような
ウィンドウが表示されます。終了を
クリック**して下さい。

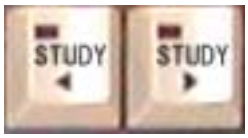
９．被検者をベッドから降ろします。

１０．フィルムへプリントします。

フィルムへのプリント

スキャン終了直後に画像をフィルムへプリントする方法

１．イメージャーが使用可能な状態になっていることを確認。
必要に応じて、フォーマット（コマ数）を変更しておく。

２． 

の順にキーを押します。（スキャン終了直後の患者の１枚の画像が表示されます）

２．１枚目の画像が表示されたら、　イメージャーの「ストア」ボタンを押します。

ストアが完了したら、

で画像を送り、再度ストアします。以降、送り・ストアをくり返します。

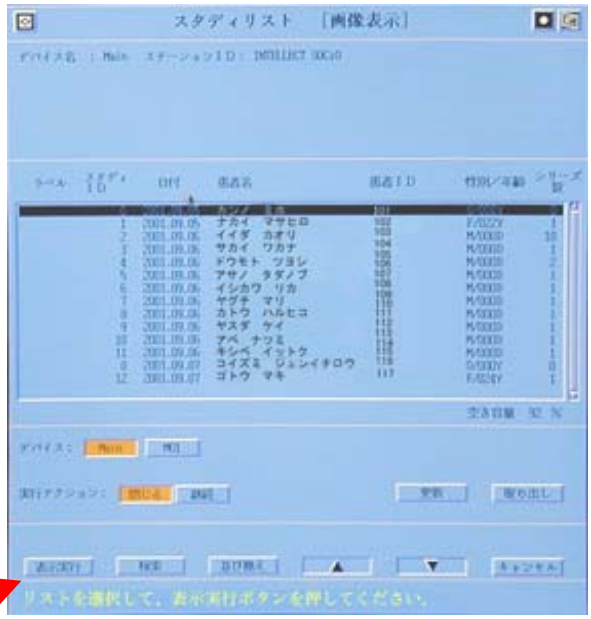
３．全部のストアが終わり、フィルムにプリントされたら、完了です。
※※フィルムのコマが余ったら、イメージャーの「ＰＲＩＮＴ」ボタンを押して下さい。※※

画像の呼び出し

・以前にスキャンした画像を呼び出す方法

１．メインメニュー下部のＳｔｕｄｙボタンをクリックします。

２．右図のようなスタディーリストが表示されます。



患者名を**クリック**して白黒反転文字にするとモニター左下に縮小画面が表示されます。見たい画像を選んで下さい。

リストを上下させるにはリスト右上・右下の△　▽ボタンを**クリック**して下さい。

３．表示実行を**クリック**すると、画像が表示されます。

画像ファイル・生データファイルの削除

※※保管されている画像ファイルが多くなると、画像削除を促すメッセージが表示されます。※※

１．メインメニュー→画像ファイル→削除と、順にクリック（またはドラッグ）します。

同様に生データの場合は
メインメニュー→生データファイル→削除と、順にクリック（またはドラッグ）します。

本装置では、生データファイルは削除操作しない限り消去されることはありません。

画像ファイル・生データファイルの取扱

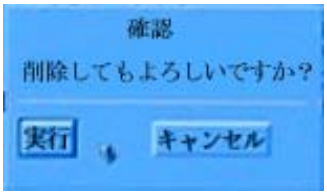
実症例のファイルは可能な限り保存しますので消去しないでください。
テストスライス時のデータファイルは撮影者の責任において消去願います。

２．右のような画面が表示されます。
患者名をクリックすると行が白黒反転し
ラベル欄（行先頭）に＊が着きます。削除しても良い患者名をクリックして下さい。

ドラッグすると複数の患者名が一度に選択できます。
全選択ボタンにて全部の患者を選択できます。
謝って消したくない患者名を選択した時は再度患者名をクリックすると＊マークが消えます。

必要のない患者名を選択し終わったら、
削除実行をクリックして下さい。

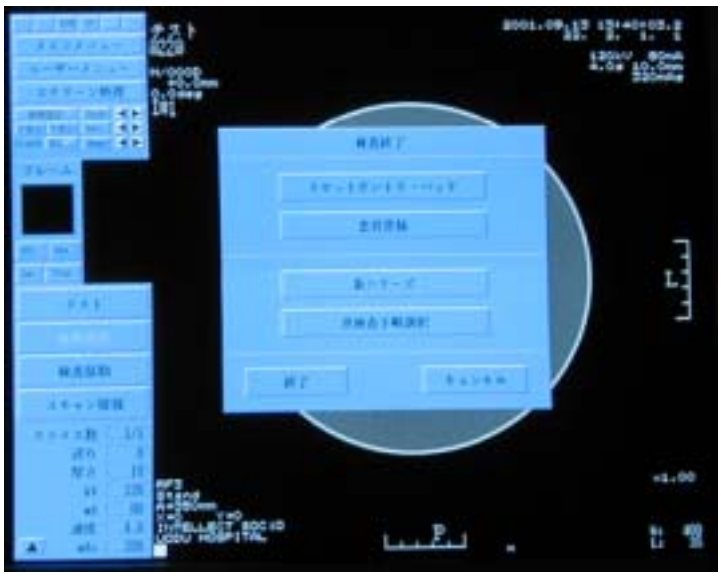
３．右のような確認ウィンドウが開きます。
よければ実行をクリックして下さい。
※※一度削除したら元には戻せません※※
画像が削除されます



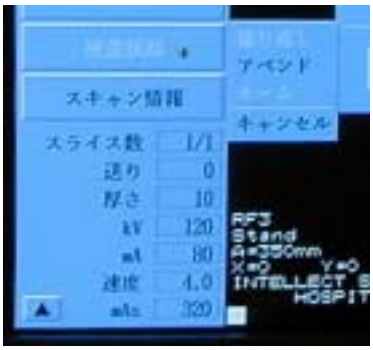
追加スキャン

・スキャン後、もう何枚かスキャンを追加したい時の方法

1．検査終了の状態（右の様な状態）から、スキャンを追加できます。



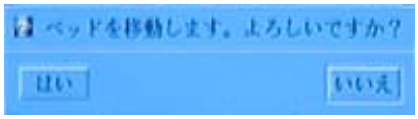
2．検査援助（右図参照）をクリックするとアペンドの項目が表示されますのでアペンドをクリックして下さい。



3．右の様なウィンドウが表示されます。

終了位置から　もしくは　開始位置からのボタンをクリックします
（送りは基本的に、そのままで結構です）
追加枚数の数字ボタンをクリックします
よければセットをクリックします。

4．ベッド移動の確認ウィンドウが表示されます。
はいをクリックして下さい。
しばらくして が点滅しますので押して下さい。
スキャンが追加されます。



5．追加が終わったら、被検者をベッドから降ろします。

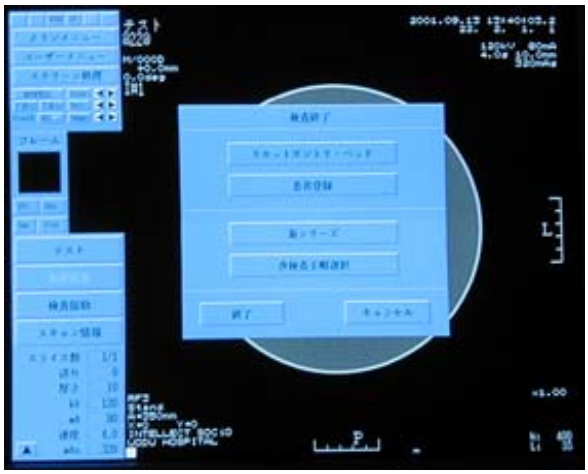
6．フィルムをプリントします。

終了位置から追加した場合は、そのままプリントします。
開始位置から追加した場合は、順番に気をつけてプリントして下さい。

再プラン方法

・胸部、腹部等スキャン終了直後に、同一ＣＲ像にて所見部分を撮像条件を変えてスキャンする方法

１．右図のような検査終了の状態にて、新シリーズをクリックします。



２．右図のようなウィンドウが開きますので、リプランをクリックして下さい。

３．右図のようなプラン画面に変わりますベッド送り量を変更するには送り mm をクリック、スライス厚さを変更するには厚さ mm をクリックして下さい。

送り量、厚さを変更したら、開始位置終了位置を設定し、スキャンを実行します。

※※以降通常と同じようにスキャンが実行されます。※※